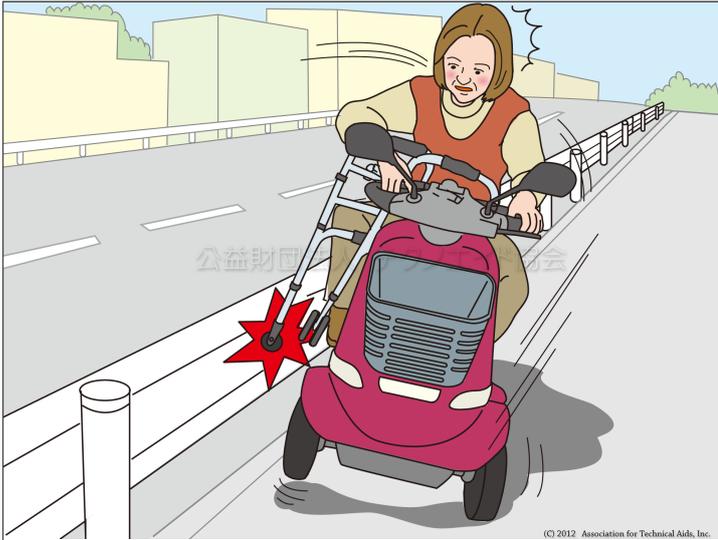


Case : 162

載せていた歩行車がガードレールに接触し、バランスを崩して転倒しそうになる

場面の説明

外出先で使用する歩行車を運転席にのせて走行したが、車体からはみ出していたためガードレールと接触してしまった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 その他
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122124 (電動三輪車・電動四輪車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

走行中の接触ではかなり大きな衝撃が予想されます。利用者のケガにとどまらず、歩行車への加害も考えられる危険な事例です。電動車いすは、歩行に何らかの補助が必要な人が利用するものであり、歩行補助具を積載しての走行は想定されるのですが、歩行車の安全な積載については難しいというのが現状のようです。メーカーの開発努力が期待される場所です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：壁際を走行していた
- モノ：歩行車を収納する場所がない
- モノ：歩行車が車幅からはみ出していた
- 環境：歩道が狭かった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 162

載せていた歩行車がガードレールに接触し、バランスを崩して転倒しそうになる

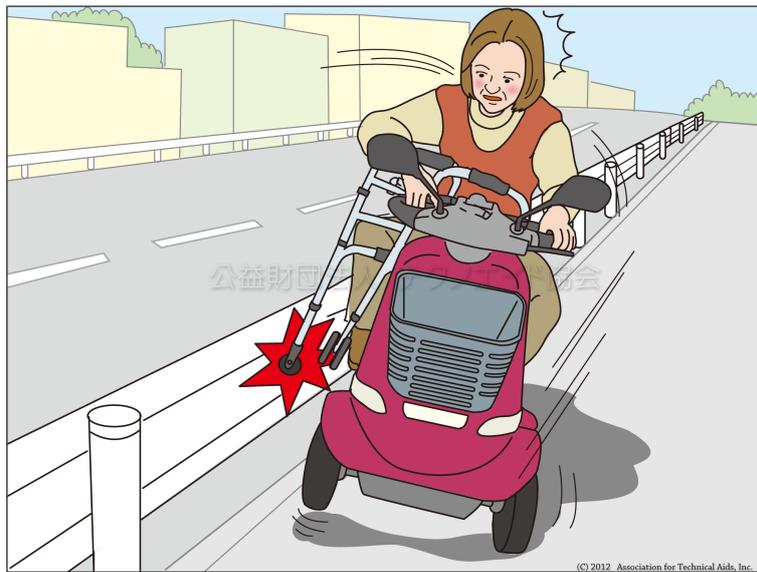
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

外出先で使用する歩行車を運転席にのせて走行したが、車体からはみ出ていたためガードレールと接触してしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ